

太陽光発電

古河電工など、太陽光発電でアルミ導体C Vケーブル ケーブル盗難防止、24年度20億円事業に

古河電気工業と古河電工産業電線は、両社が開発・製造し、古河電気工業と昭和電線ホールディングスが出資するSFCC(神奈川県川崎市)を通じ販売する高機能型低圧アルミ導体C Vケーブル「らくらくアルミケーブル」が、メガソーラーで採用された。近年多発する銅線の盗難に対する防止策として、アルミ導体ケーブルであるらくらくアルミケーブルが用いられた。

メガソーラーをはじめとする産業用太陽光発電所は、敷地が広い上に無人で、近隣に人家や人通りの少ない立地が多いことから、銅線の転売を狙ったケーブルの盗難が絶えず、問題となっていると古河電気工業は指摘する。ひとたび盗難に遭えば、修理費用がかさむだけでなく売電収入にも大きく影響するため、早期に復旧する必要がある。

今回山梨県内のメガソーラー発電所でケーブル盗難被害が発生し、早期復旧および盗難防止を目的に「らくらくアルミケーブル」が採用された。

